

2020年6月

自己点検・評価

【達成状況】

2019年5月に「日本語教育機関教育活動評価」の自己点検・評価を行い、各教職員が担当業務をよりよくするため工夫や努力を重ねてきた。

今回の自己点検・自己評価では、告示基準に基づいた点検項目を全て満たしている。

まず、入学者の募集・選考だが、入学者のほとんどが中国人なので、入学の選考基準や学費等の明細・返還規定、教育内容の詳細を中国語で学校案内としてネット上で公開している。上海にも事務所を置き、厳選した募集代理人とも緊密に連絡を取っている。学生は大学・大学院進学を目指しているのも、経費支弁能力や日本語能力はもちろん、基本的な学習能力・意欲を見るために学校職員が一人一人面接を行う等、多くの資料を基に判断している。

日本語学習ではカリキュラムに沿った授業を行い、毎日授業の達成度を測る小テストを実施し、宿題を出し、採点・添削後学生に返す等、きめ細かい指導の積み重ねを全教職員が協力して行っている。日本留学試験や日本語能力試験の対策授業・模擬試験を行い、実際の試験で全国平均を大きく上回る結果を出している。そして、多くの国公立・有名私立大学合格者を輩出し、学生の進学希望に応える結果となっている。直近の課程修了者の日本語能力習得状況は、基準該当者割合100%である。また、今年3月、希望者に校内でJ.TESTを実施した。これも日本語能力を証明する1つなので、要望があれば、定期的に実施していく予定である。

生活指導では、来日後早く日本の生活に適応できるように体制を整えている。例えば、空港から学校（寮）までのバス送迎、設備の整った寮の提供、中国語でのオリエンテーション、お知らせメール送信等で、更に学生からの問い合わせに迅速に答えられるよう連絡窓口や担当を決めた。学習・生活両面で問題があれば、担任1人ではなく、時には中国人の職員が面談し、必要に応じて役所や医療機関などに付き添い、中国の経費支弁者とも連絡を取り合いながら学生に寄り添った対応を心掛けている。

前回の点検で課題となった教員評価に関しては、明確な評価項目を定め、卒業前の学生にアンケートを行った。その結果を含めて各教職員が自己評価をし、それに対してチームリーダー等の評価も併せて学校全体として取り組んだ。

また、想定外の新型コロナウイルス感染の危機に見舞われ、平常授業活動ができなくなったが、全教職員・全学生の協力のもと、オンライン授業の実施、全員のマスク着用、学校施設の消毒やソーシャルディスタンスを配慮した設置、QRコードを利用した全員の健康報告（毎日）等を早急に行ったことは評価できると思う。現在はいつ新入生が来日してもいいように準備している。

【課題・改善計画等】

次回からは、学校として「自己点検・評価プロジェクトチーム」を立ち上げ、それぞれの担当者から意見を出し合って進めていけば、課題がより明確になり、学校全体で更に良い教育活動ができると思う。